



大浦だより

令和8年10月1日発行
舞鶴市立大浦小学校

教育目標「希望に燃えて 伸びゆかん」
心やさしく、人を大切にする子 自分の考えをもち、共に学び合う子
自分を表現し、相手を大切にする子 ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>



家島小学校との交流 ～ 小規模校×小規模校 ～



9月10日(木)～11日(金)、6年生が兵庫県姫路市立家島小学校を訪問し、5・6年生の児童と交流を行いました。

この交流の始まりは、現在の6年生が5年生の時までさかのぼります。家島小学校は小規模校で海に近く、総合的な学習の時間で地域に目を向けた学習に取り組んでいるという本校との共通点があることから、家島小学校の5・6年生とリモートによる交流を続けてきました。交流を重ねる中で、お互いに親しみや関心が深まり、6年生になる頃には「実際に会って交流したい」という思いを強く持つようになりました。こうした児童の願いが実現し、大浦小学校の6年生が家島小学校を訪問して直接交流することになったのです。



姫路港から船に揺られること約30分で瀬戸内海に浮かぶ家島へ到着します。日本海と瀬戸内海は同じ近畿地方の海ですが、気候や海辺の生活環境、地形や産業などに違いがあります。フェリーが着いた真浦港から家島小学校までは歩いて15分程。児童は港町を歩きながら大浦校区と似たところや違うところをたくさん見つけていました。

家島小学校に着いてすぐに、一緒に給食をいただきました。その後は運動場や体育館で体を動かしたり、教室で両校の共通点や相違点を見つけたりしながら交流を深めました。こうして、充実した2日間はあるという間に終わりました。「人は人と関わり、人の中で育つ」と言われます。今回の交流を通して、直接会うことでしか得られない多くの学びがありました。相手の表情の少しの変化や身体的な距離感、その場の空気を感じ取りながら関わることは、リモートでは味わうことのできない体験です。また、自分とは違った環境の中で暮らす人と交流することで、多様な生活や価値観があることを知り、他者を受け入れようとする心も育まれます。近年はAIの急速な発達により、離れていても画面越しに顔を見て会話ができたり、アバターを介して交流したりできる時代になりました。しかし、そのような時代だからこそ、人と人とが直接出会い、五感を使って関わり合うことを大切にしたいものです。この2日間で得た経験を大切に、これからの人生の様々な場面で生かしてほしいと思います。

「ふるさとを愛し、誇りに思う児童」を育てていくため、小規模校の良さを活かした行事をこれからも計画し実行していきたいと考えています。その際は地域や保護者の皆様の御理解と御協力が必要となります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページで学習の様子を公開しています。
右記のQRコードからも開くことができますのでぜひ御覧ください。

